

農業を始めたいあなたを
応援します！

令和6年度 新規就農事例集

新たに農業をしようとする意欲ある
青年や中・高年の就農を支援してい
くため、就農関係情報の紹介、提供、
農業及び経営技術の習得に必要な研
修先の紹介、就農準備、経営開始に
係る融資制度の紹介等就農相談を行
っています。



(公財)沖縄県農業振興公社
(沖縄県新規就農相談センター)
(沖縄県農業経営・就農支援センター)



はじめに

公益財団法人沖縄県農業振興公社では、農業を始めるきっかけとしての就農相談及び農畜産物の生産技術等を身につけるための就農研修の紹介、就農関連情報の収集・提供、就農相談会の開催等、就農につながるサポートを行っています。

近年、農業に魅力を感じ、ビジネスとして本格的に農業に取り組みたいとの相談者が幅広い世代で増えています。

本書は、こうした中で実際に就農を実現した方の就農への思いや就農に至るプロセスを紹介した事例集です。併せて、「就農へのみちすじ」や、就農を支援する各種制度・関係機関等の情報を掲載しています。

農業に関心を持ち、新たに就農を目指す皆様の手引き書として、ご活用ください。

結びに、本書の編集に当たって多大なご協力をいただきました関係機関・団体等の皆様に感謝を申し上げます。

令和7年1月

(公財)沖縄県農業振興公社
理事長 平田 功

目 次



糸満市
キンジョウ ショウゴ
金城 尚吾さん・菜美希さん 1 ページ



南城市
ハシ モト マサ カズ
橋本 昌和さん 3 ページ



うるま市
キ ユ ナ トモ ヒト チ アキ
喜友名 朝士さん・千晶さん 5 ページ



沖縄市
シンジョウ マイ コ
新城 麻衣子さん 7 ページ



宮古島市
マスダ ミツ ヒロ ユイ
増田 充宏さん・結衣さん 9 ページ



石垣市
ハス ミ エ コ
蓮 美江子さん 11 ページ

就農までのみちすじ	13 ページ
上手に就農する10力条	14 ページ
写真に見る新規就農相談会	17 ページ
就農支援に関する各関係機関	21 ページ
沖縄県産農林水産物産地マップ	22 ページ

夫婦で取り組む露地野菜栽培
～「露地野菜の拡大と農福連携を進めたい」～

糸満市照屋 金城 尚吾さん・菜美希さん

プロフィール

- 糸満市字照屋出身、38歳
- ・高校卒業後、建築会社に就職。その後、給油所やバイク店で働き、再び建築会社に勤めるが、会社の経営が厳しくなり、両親・兄がやっていた農業を始める。
- ・令和1年6月、独立就農し現在6年目
- 妻：那覇市出身



農業を始めたきっかけ

- 高校卒業後、農業以外の仕事に従事してきたが、いずれも経営が厳しく、将来を考えたとき両親がやっている農業の方が見通しが明るい様に感じた。
- 農業は幼いときから、作業を手伝っていたので、何の抵抗もなく始めることができた。両親・兄の下、野菜栽培を1年間手伝い、独立就農した。

就農準備

- ①技術の確保 … 技術は両親・兄がやっている野菜栽培を手伝いながら人参、ジャガイモ、小松菜などの露地野菜の栽培管理を習得する。
- ②資金の確保 … 営農資金は青年等就農資金、JA営農資金の借入、新規畠人資金支援事業（経営開始資金・夫婦型）の交付資金を活用している。
- ③農地の確保 … 農地は両親・兄から2,000坪を分けてもらうことができた。就農後も地域農家からスムーズに農地の借入拡大ができる。

経営の概況

- ①就農地 …… 糸満市字照屋、大里
- ②経営作目 …… 人参、馬鈴薯、小松菜等
- ③面積 …… 露地100a(3,000坪)
- ④販売先 …… JA、県内スーパー
- ⑤家族構成 …… 7人（夫婦、子供）
- ⑥労働力 …… 3名（本人、妻、パート）
- ⑦就農年月 …… 令和1年6月



(農福連携での収穫作業)

これまでを振り返って

●苦労した点

- ①就農1～2年目は色々な野菜を作りたくて、数多くの野菜を植え付けた。しかし、野菜の種類が多くなると手入れも十分にできなくなり、計画した収穫・出荷が出来ず、資金繰りに苦労した。
- ②就農当初は兄のトラクターを借りて栽培圃場の耕耘をしていたが、兄との作業期間の重なりもあり、計画的な植付けが難しくなった。運転資金もなく、栽培に必要なトラクター、野菜保管用の冷蔵庫などを導入するため、青年等就農資金等を借り入れた。

●良かった点

- ①両親、兄が農業していたため、農地確保や栽培技術の習得、農作業機械の借り入れも出来て、農業を始めることができた。
- ②独立就農後、2年を経過しての新規畠人資金支援事業・経営開始資金（夫婦型）の交付対象者となる事が出来た。
- ③現在、2カ所の福祉事業所と作業委託が出来ている。作業は栽培圃場での収穫作業、室内での袋詰め調整作業であるが、作業時間は午前、午後と分けている。

今後の農業経営の目標

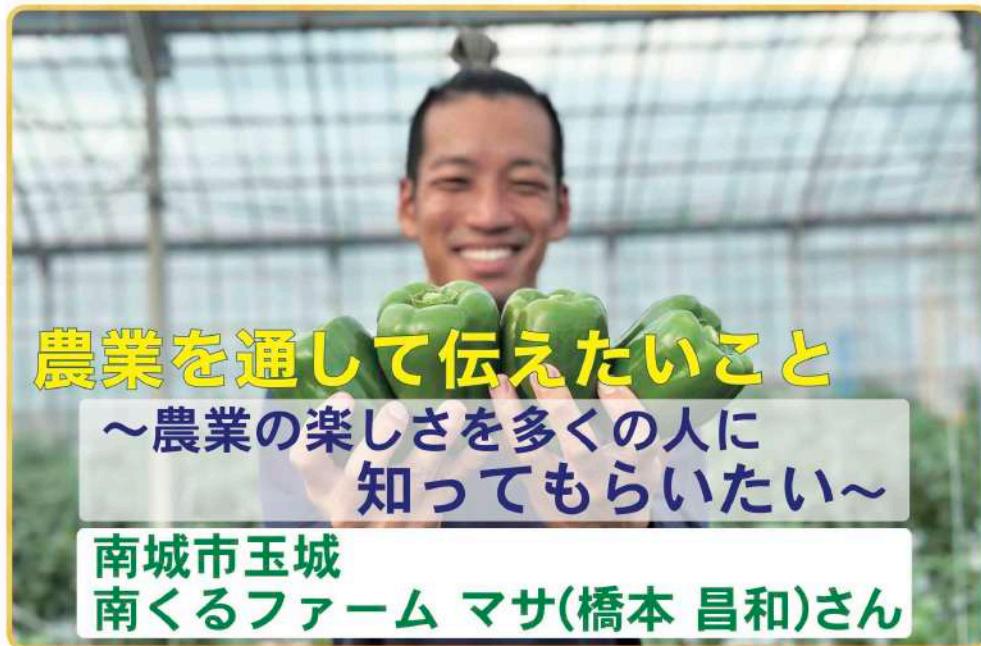
- 露地野菜の栽培面積 1ha(3,000坪)を2ha(6,000坪)まで拡大し、人参の栽培を増やしたい。
- 2カ所の福祉事業所と農福連携を進めるために、収穫調整用の作業場を設けたい。
- 休日を取れるようにしたい。

新規就農者へのアドバイス

- 新規就農する場合、農地確保に先手を打ちながら計画を考える事。根菜類栽培では広い面積が必要である。
- 就農地の周囲農家の栽培作目を見て、栽培管理に十分な手が回るかを判断し作目を決めること。
- 生活資金と営農資金は十分確保すること。
- 農業はパートナーの協力、視点、意見が大事である。



人参圃場、収穫・洗浄作業の様子で～す



農業を通して伝えたいこと ～農業の楽しさを多くの人に 知ってもらいたい～

南城市玉城
南くるファーム マサ(橋本 昌和)さん

プロフィール

- 宜野湾市出身 40歳
- 日本体育大学卒業後、プロのダブルダッチプレイヤーとして活躍。
- シルク・ドゥ・ソレイユ・アーティスト
- コロナ禍で沖縄に帰り、ピーマン中心の生産農家の下で2年間の研修を受ける。
- 研修終了後、青年等就農計画認定を受け、令和3年10月独立就農。



農業を始めたきっかけ

- プロのダブルダッチプレイヤーとして活躍しながら「食」の重要性を感じていた。沖縄に帰り、父の知り合いの農家が生産したピーマンを生で食べたとき、味、歯応えに感激し、これだと思いつき生産農家に駆け込み、作り方を教えて欲しいとお願いした。父の進めもあり、八重瀬町具志頭のピーマン生産農家に入り、2年間の研修を受ける。
- 研修先農家ではピーマンを中心に栽培を習う。

就農準備

- ①技術の確保 … 技術はピーマン生産農家の下で2年間の研修を受けた。研修先農家へは独立就農後も定期的に通い、アドバイスをもらっている。またJA玉城野菜部会の勉強会、南城市青年クラブに加入している。
- ②資金の確保 … 資金は両親からの借入と新規畠人資金支援事業・経営開始資金を活用。
- ③農地の確保 … 研修を受けている時から研修終了後の独立就農を目指し、農地確保に奔走したが、なかなか探せなかつた。研修農家を中心に周囲に協力をお願いして回った。1年ほど経った頃、地域の農地調整員を紹介されて、550坪の農地と平張りハウス700坪を借り入れる事ができた。それから、550坪の農地にオクラを栽培していたら、近くの農家が、高齢を理由に農業をリタイヤするので、鉄骨ハウス250坪を利用しないかとの話があり、借り入れることが出来た。

経営の概況

- ①就農地 …… 南城市玉城字中山
- ②経営作目 …… ピーマン、ジャンボインゲンオクラ
- ③面積 …… 施設(ハウス)8.3a、露地42a
- ④販売先 …… JA、青果業者、SNS等
- ⑤家族構成 …… 1人
- ⑥労働力 …… 2名(本人+臨時雇用)
- ⑦就農年月 …… 令和3年10月



(美ら海に隣接するハウスです)

これまでを振り返って

●苦労した点

- ①農地を探すのに苦労した。条件に合う農地が見つからず、借り入れできるまで1年余りかかった。
- ②就農して、はじめの1・2年目は、経験不足もあって、台風被害や天候の変化、病害虫の影響を受けて苦戦した。収量が減り資金のやり繰りが大変だった。

今後の農業経営の目標

- 農業の楽しさを多くの人に知ってもらいたい。野菜の美味しさも広めたい。
- 美味しい野菜づくりを通して、就農者の仲間を増やして行きたい。
- 規模拡大を図り、共に働く仲間達と農業の楽しさ、感動を共有して行きたい。

●良かった点

- ①農業は全て一人で働き方が決められること。
- ②農業は自分が頑張った分、売上げにつながること。
- ③農業はストレスを感じず、楽しみながら働けること。
- ④年間40回程開催した収穫体験では、小さな子供から大人まで参加してくれた。新鮮な野菜に触れ栽培の様子を知ることで、野菜嫌いの子供が、野菜を克服できることも目の当たりにし、やりがいを感じている。皆で喜びを感じられる機会となっている。

新規就農者へのアドバイス

- 農業は面白くやりがいのある仕事。先輩農家や周りの方に話を伺い、自分のやりたい事や目標を定めて取り組んでいって欲しい。
- 農業は自分が頑張った分が収益につながるので、やりがいがある。また、野菜は生き物なので、手入れをしっかりと行うことでその変化を実感できる。就農者の皆さんには作物の変化を体感しながら、農業を楽しんでもらいたい。



栽培品目、収穫体験、販売セット、南くるファームの紹介で～す



ピーマン栽培で反収20tを目指したい

うるま市勝連南風原
(心畠ファーム)喜友名 朝士さん・千晶さん

プロフィール

●読谷村字大湾出身、34歳

- ・大学卒業後、鹿児島県志布志市の株式会社「さかうえ」に就職。4年間、ピーマンの施設栽培管理を学び帰郷する。
- ・帰郷後は読谷村「ゆんた市場」で2年間、野菜等の仕入れ、販売業務に従事する。「ゆんた市場」からうるま市の「識名農園」で1年間、有機野菜栽培を習う。
- ・令和4年4月、うるま市のレンタルハウスを借り受け独立就農。現在3年目。

農業を始めたきっかけ

- 大学卒業後、体を動かしたくて会社員より農業がいいかなと軽い気持ちで入る。しかし、鹿児島の「さかうえ」での機械施設を利用した先進的なピーマン栽培に大きな刺激を受けて、就農への本気度が増した。
- 大型機械施設でのピーマン栽培の研修を経て、地元のファーマーズマーケットで四季の野菜の生産流通状況を体感した後、有機野菜栽培を経験し就農する。

就農準備

- 農地は知人と農地中間管理機構の紹介で2カ所の農地33a(1000坪)とレンタルハウス7.1a(250坪)借り入れることができた。
- 技術は鹿児島の「さかうえ」で機械施設制御下のピーマン栽培。ファーマーズでは出荷選別等のパッキング。有機野菜栽培では土づくり、病害虫対策の備えなどを学んだ。
- 営農資金は雇用時の預金、新規就農人資金事業・経営開始資金を活用している。
- トラクターは借用し管理機、防除機等を導入した。

就農先の経営概況

- ①就農地 うるま市勝連南風原
- ②経営作目 ピーマン、小松菜
- ③面積 50a(ハウス7a、露地43a)
- ④販売先 JA、うるマルシェ、ファーマーズマーケット
- ⑤労働力 2名
- ⑥設立年月 令和4年4月



勝連城を背景にしたハウスです

●良かった点

- ①農地を探すのに苦労している。現在もハウス設置ができる農地が見つからず探している。
- ②就農して1年目は軽トラック、動力噴霧機等の導入に初期投資がかかった。また、初めての圃場で管理が上手く届かず、生産量も少なく赤字であった。

今後の農業経営の目標

- 現在のレンタル農場から、新たな生産基盤となるハウスを設置し、本格的にピーマン栽培に取り組みしたい。
- ピーマン栽培の環境制御装置を導入して、反収20tを目指したい。

新規就農希望者へのアドバイス

- 農業はやりがいのある仕事ではあるが、就農に当たっては農地の確保に時間がかかる事。資金確保は1,000万円以上を見通す事。作る作目の技術確保を何処で習うのかの3点の準備が大切である。また、作目を選ぶ時は、単価、収益性から絞った方がよい。
- 生活資金と営農資金は十分確保すること。



ピーマンの植付け状況



ピーマンの誘引状況



ピーマンの収穫作業



露地野菜(小松菜、オクラ)の栽培状況





プロフィール

- 沖縄市知花の出身。高校卒業後、東京で2ヶ年間働き帰郷して結婚。
- 平成16年から弟が始めたマンゴー栽培を手伝ううちにマンゴーの花、果実の生長、果実の色の変化等を見るのが楽しくなった。マンゴー栽培は収穫作業の手伝いから入ったが、弟のリタイヤに伴いマンゴー栽培を引き継ぎ、令和4年1月、独立就農する。

農業を始めたきっかけ

- 弟のマンゴー栽培は台風被害を受けて収入が厳しくなり離農。マンゴー施設はしばらく管理する人もなく、木の枝がハウスを突き破るなど荒れていた。この様な中、マンゴーハウスが勿体ないと思い、10本のマンゴーから栽培を始めた。しかし、周囲からは兼業でのマンゴー栽培と見られて、誰も教えてくれる人はいなかった。コロナ禍が明けて、本気で新規就農を考えた時、夫が背中を押してくれた。

就農準備

- 農地の確保
 - 農地(元キビ畑)は父から2ヶ所20a(600坪)に強化ハウス10a(300坪)を借り入れた。
- 技術の確保
 - 技術は弟と知人からのアドバイス、美里マンゴー部会で学んでいる。
- 資金・施設の確保
 - 資金は新規就農人資金事業・経営開始資金の活用。
 - 鉄骨ハウス、管理機、防除機等は父からの借入。
- 生活費の確保
 - 農業次世代人材投資事業(開始型)の交付資金と農産物販売収入を当てている。

経営の概況

- 就農地 沖縄市池原
- 経営作目 マンゴー(施設300坪)
野菜(露地300坪)
- 面積 20a(600坪)
- 販売先 JA、ファーマーズマーケット
SNS(ネット販売)
- 労働力 2名(本人、夫)
- 就農年月 令和4年1月



摘果後のマンゴーハウスです

これまでを振り返って

●苦労した点

- 夏のマンゴーハウスは暑く嫌だった。マンゴーハウスの屋根に上がれずビニール張りが出来なかかった。
- マンゴー栽培の参考資料を与えられても、内容が理解できなかった。例えば、N, P, Kも分からぬ人間が、〇〇欠乏症と言われても理解できなかった。
- 就農してはじめの1年は、まだ経験・知識不足というのもあって、台風被害や天候の変化、病害虫の被害を受けて苦労した。収量が減り資金のやりくりが大変であった。

●良かった点

- 夫が転職し、マンゴーの栽培作業を手伝ってくれている。
- JAや先輩農家から月毎のマンゴーの生長に合わせた灌水、施肥、病害虫及びハウス管理方法等のアドバイスを受けて、令和5年・6年の沖縄県マンゴーコンテストで、2年連続“優良賞”を受賞することが出来た。
- SNSで発信し販売することによりお客様の喜びの声や応援メッセージを直接聞けて励みになっている。

今後の農業経営の目標

- マンゴーの品質維持、安定生産、ブランディング、販売促進と加工品販売にも挑戦したい。
- SNSでマンゴー栽培について発信し続け、たくさん的人に真っ赤な美味しいマンゴーを食べてもらいたい！

新規就農希望者へのアドバイス

- 就農に当たっては、生活資金・営農資金をしっかりと準備すること。
- 農業の基礎知識、栽培技術を学ぶこと。
- 栽培は人それぞれ。自分なりの栽培、販売方法を見つけること。
- 県、市町村、JA、先輩農家との情報交換、コミュニケーションはとても大事です。



マンゴーの開花状況



マンゴー果実日曜作業の様子



袋掛け前のマンゴー果実



マンゴーコンテスト優良賞獲得

エイト ファーム

「8 farm」

消費者と繋がる
農園をめざして！



宮古島市
マスダミツヒロユイ
増田 充宏さん・結衣さん

プロフィール

兵庫県神戸市出身。結婚を機に、平成26年、妻の希望により宮古島に移住。宮古島では農業関係の業務に従事しながら就農準備を進め、令和2年1月に独立就農。現在、JAゴーヤー部会、オクラ部会、新規就農者中心の共同出荷グループ(人数:3人、品目:ゴーヤー、かぼちゃ、ピーマン、メロン等)に所属

農業を始めたきっかけ

大学卒業後、自転車で日本一周を試みるなか、四国で自転車の故障により1ヶ月足止めに。その時、助けてくれた稻作農家で作業を手伝ったのが初めての農業経験。以後、オーストラリアでのワーキングホリデーで、アボガド、バナナの栽培管理に従事。定住した宮古島市では、農業関係のアルバイトをしていたが、子供が出来たことをきっかけに、独立自営を決意した。その後、就農に向けて先輩農家、知り合いの新規就農者、宮古農業改良普及課や宮古島市農政課等の関係機関に相談した。

就農準備

- ①農地の確保 … 荒廃農地を購入(経営体育成強化資金を活用)
- ②技術の確保 … オーストラリアのワーキングホリデー及び宮古島のアルバイト先で技術習得
- ③生活を支えた補助金等収入
 - ・沖縄県農業次世代人材投資資金(経営開始型)を夫婦で受給
 - ・新規就農一貫支援事業により、パイプハウス10a、ブルトラ1台導入
 - ・JAリースや宮古島市補助事業により、パイプハウス20aを導入
 - ・運転資金として青年等就農資金を借り入れる

経営の概況

- ①就農地 …… 宮古島市城辺保良
- ②経営作目 …… ゴーヤー(22a)、かぼちゃ(60a)、オクラ(40a)、タマネギ(30a)、メロン(8a)
- ③経営耕地面積…210a(パイプハウス30a、露地180a)
- ④販売先 …… JA、共同出荷
ふるさと納税返礼品・ネット販売(メロン)
- ⑤労働力 …… 4人(夫婦+雇用者2名)
- ⑥農業保険 …… 園芸施設共済、収入保険



玉城県知事視察(令和6年3月)

これまでを振り返って

●苦労した点

- ・農地の確保や資金調達に苦労したが、宮古島市農政課や宮古農業改良普及課等の関係機関の支援があり、無事乗り越えて独立することが出来た。
- ・経営が軌道に乗り目標計画を達成した頃、急に意欲を失うことがあった。仕事のやりがいを感じるには常に新しい目標を見つけて、モチベーションを維持することが大切だと感じさせられた。

●良かった点

- ・多くの人の支援があり、農地の確保なども順調に進めることが出来た。
- ・アルバイト先の先輩農家とは今でも繋がりがあり、良き相談相手となっている。
- ・宮古島市や観光協会と連携し、学校給食への食材提供や農業体験の受入など、新たな取り組みにもチャレンジすることが出来て、とても励みになっている。

今後の農業経営の目標

- ・経営規模の拡大や新たな品目の栽培にも取り組み、収益の向上を目指す。
- ・台風等の自然災害リスクを考慮し、栽培時期や品目を決め、所得の安定化を図る。
- ・人との繋がりを大切にし、生産者と消費者の顔が見える農園にしたい。
- ・農業を通じて、社会の課題を解決できるよう取り組んでいく。

新規就農希望者へのアドバイス

- ・やるべきことを実践すれば、農業で生活していく。農業に興味がある方は市町村、県農業改良普及課、JAおきなわ等の関係機関に相談してみてはいかがでしょうか。



就農当時からのゴーヤー栽培



タマネギ栽培にもチャレンジ



農業体験の受入活動

健康な土づくりから 美味しいマイヤーレモンの 栽培に取り組む



プロフィール

青森県出身。東京農業大学造園科学科卒業。造園会社、造園コンサルタント、植物生産での勤務を経て、個人庭やマンション、商業施設の造園、設計、施工、管理、企画等に携わる。その後、拠点を石垣島に移し、農業をスタート。

造園技能士2級、樹木医師。

農業を始めたきっかけ

石垣島で造園業に携わりながら、島でおいしい物を育てたいと思い、柑橘、ハーブ類の栽培を行う。島内のレモン園で研修を経て、園を受け継ぐ。

研修受入農家に通いながら農地確保、就農支援制度に関する情報収集のため、石垣市役所、農業改良普及課を訪ねた。相談の中で青年等就農認定制度、新規畑人資金支援事業（経営開始資金）の説明を受け、認定新規就農者を目指す。数ヶ月かけて計画書等を作成し、青年等就農認定申請を行ったところ、計画の妥当性が認められ、認定新規就農者となった。

就農準備

- ①農地の確保：農地は研修先農家から譲り受け30aを購入する。
- ②技術の確保：マイヤーレモンの栽培管理技術は令和4年～5年の1年間オーナー及び島内の果樹農家から習う。また、本土のマイヤーレモン産地に出向き、管理技術等を学ぶ。
- ③資金の確保：
 - ・新規畑人資金支援事業（経営開始資金）受給中（令和6年7月～令和9年6月）
 - ・マイヤーレモンの販売代金、造園業の収入

経営の概況

- ①就農地：石垣市宮良
- ②経営作目：マイヤーレモン30a
- ③販売先：全国のお菓子屋さん、スーパーなど
- ④家族構成：夫、本人、子供2名
- ⑤労働力：本人1名 従業員なし
- ⑥就農：令和6年3月、石垣市の青年等就農計画認定を受ける。



上：マイヤーレモンの花

下：収穫したマイヤーレモン

これまでを振り返って

●苦労した点

- ①マイヤーレモンの管理作業は剪定、収穫や出荷物の運び出し、収穫物の手入れ等、高所での作業や重量物相手の繰り返しの作業が多く、体力的にきつい。
- ②引き続いだ果樹園は樹齢15年、病害虫台風対策に苦慮している。

今後の目標

- ①国産マイヤーレモンの認知度を高めたい。
- ②島でグリーンレモンの認知を高めたい。
- ③マイヤーレモンの品質と収量の安定を図りたい。

新規就農希望者へのアドバイス

- ①就農や作物栽培管理に関する情報は自ら取りに行くようにする。
- ②島の農家の皆さんに支援してくれている事を忘れず、先輩のアドバイスを大事にする。
- ③島の農業関係機関である市町村役場、農業改良普及課を活用し繋がりをつくる。



（収穫前のマイヤーレモン）



（剪定作業）

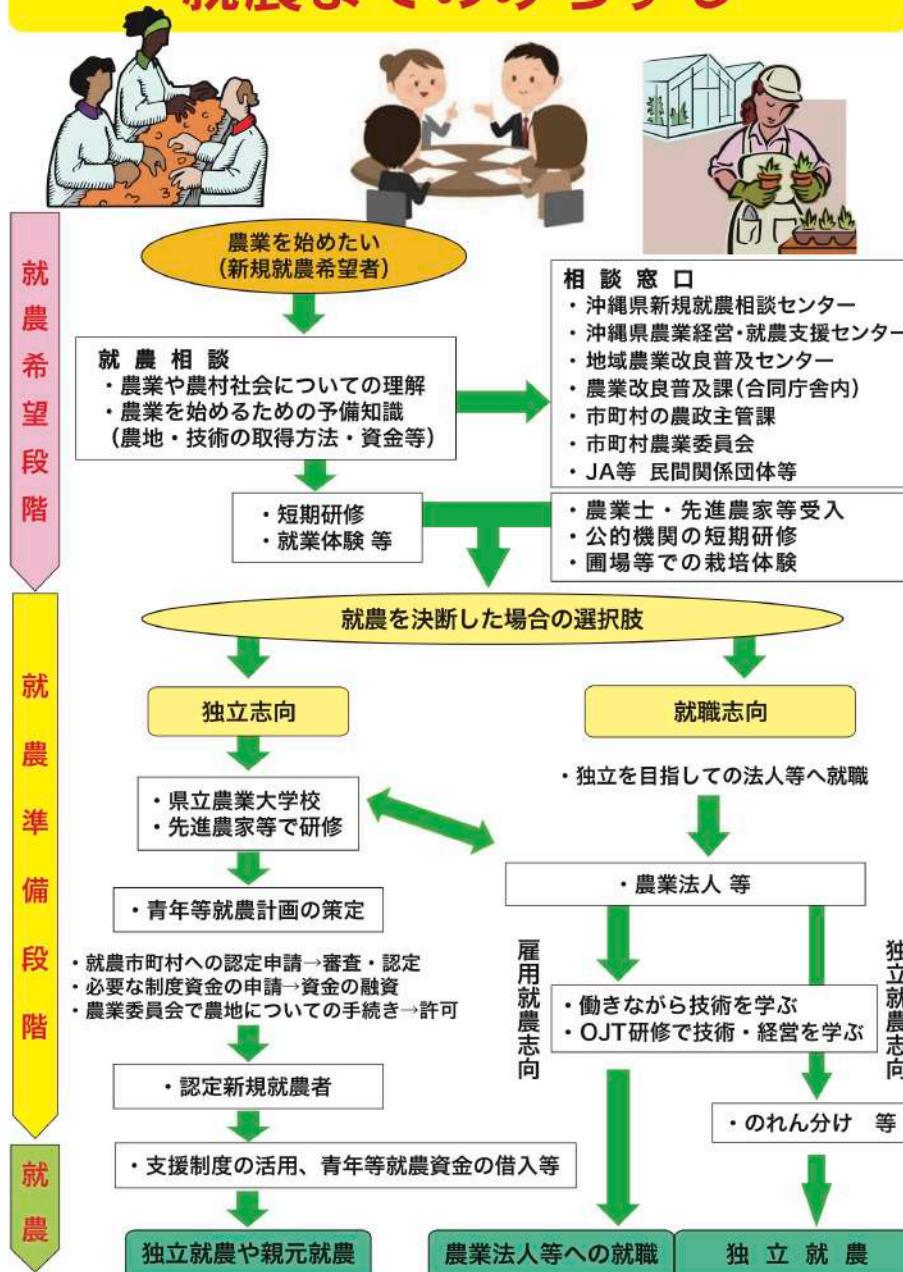


（上：レシピ 下：産直市場出荷品）



（店頭販売の様子）

就農までのみちすじ



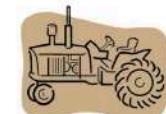
上手に就農する10カ条

（1）自己責任、自己管理が基本！

農業経営においては、農作物の生産だけでなく、収支計算から販売まで自己責任で行うことが大原則です。

～～新規就農者からのアドバイス～～

- ◎農業は色々な努力と想い、技術と総合力が必要。農業にどれだけの魅力を感じられるか、それが強くないとつらくなってしまう。
- ◎汗を流して、自己管理と無理、むら、無駄のないタイトな経営感覚が求められる。



（2）明確な目標、確たる意志を持つこと！

何事も「はじめに目標ありき」です。実現可能な経営目標を立て、確たる意志のもとで、その実現に向けてステップアップすることです。

～～新規就農者からのアドバイス～～

- ◎就農前に綿密な経営計画、生活設計を立てる。自分の目指す経営スタイルの農家等を訪ねて調査する。



（3）技術・経営管理能力の取得

就農に先立ち、自分の農業技術力や経営管理能力を磨いておくこと。この場合、研修施設での実践研修を積むこと。

（県立農大、公的機関、農業法人等を活用）

★県立農業大学校（2カ年）

園芸課程（野菜専攻・花き専攻・果樹専攻）畜産課程（肉用牛専攻）

★県立農業大学校（短期養成1カ年）

園芸課程（野菜専攻・花き専攻・果樹専攻）畜産課程（肉用牛専攻）

★農業改良普及センター（中部・南部）

農林水産振興センター・農業改良普及課（北部、宮古、八重山）
新規就農支援講座、専門講座

★農業者（指導農業士、女性農業士等）

プロ農家の技術・経営手法・地域慣習を学ぶ。

★市町村農業後継者育成施設（宜野座村）

指導員による実践研修

★農業生産法人、JA、花卉農協の研修施設等

就職等により農業技術・経営のノウハウを習得



(4) 農業・農村の実情を把握すること！

農業とはどのような産業なのか。農村社会やその実情(生活や習慣)はいかなるものか等の把握が必要です。

～～新規就農者からのアドバイス～～

◎地域のことは地域に習え。

◎地域でやっている農業をまず尊重せよ。



(5) 地域選定と地域の合意に努めること！

地域の選択は、自分の農業経営が最適か否かも当然ですが、家族の日常生活、子供の教育等、総合的に考える必要があります。

加えて、その地域が新規就農者を快く受け入れてくれるのかどうかも重要な要素となります。就農までに市町村等を通じて、地域の意思疎通、合意形成に努めましょう。

～～新規就農者からのアドバイス～～

- ◎新規就農者が頑張るのは、温かく受け入れてくれた地域の皆さんのおかげだということを忘れてはいけない。
- ◎とにかく地域を頼ること。行政、JAに甘えてしまえといいたい。経験はないから、言われたことをそのままやることが第一。
- ◎地域に溶け込み、近隣の農家と支え合って暮らしていくことが大事。
- ◎農業は繋がりの産業。地域コミュニティを大切にし、両立させること。周りから助けてもらっている、支えてもらっていることへの感謝を忘れない。
- ◎相手を尊重することで良い人間関係が生まれる。地域住民と馴染んでいくことが大切。



(6) 家族の理解と同意を得よう！

就農するにあたり、家族の同意はとても大切です。もしかしたら住居の移転もあるかもしれません。農業経営は家族の協力がないと成り立にくいものです。

～～新規就農者からのアドバイス～～

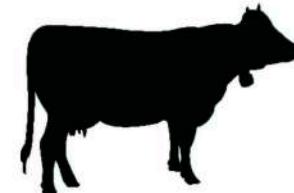
- ◎家族の理解と最低限の準備資金が必要。
- ◎子供の教育の面でも都会とは異なる。
- ◎生活や農業面について、リスクコミュニケーションを行うことは大切。



(7) 農地取得などの経営基盤をつくろう！

農地がないと農業は営めません。農地取得や農地賃貸は、就農先の市町村農業委員会で相談します。

★(公財)沖縄県農業振興公社は、沖縄県知事より農地中間管理機構に指定されており、農地を貸したい人と借りたいとのマッチングを行っています。



(8) 住居を確保しよう！

住居は農地の近隣に確保することが望ましいです。就農先の選定や地域の合意により情報が得られます。借家も含め、地元の協力を得ましょう。

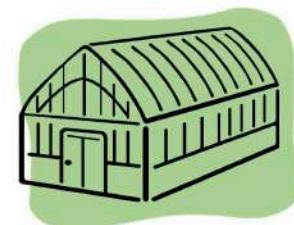
また、県内外を問わず就農先の市町村の農業担当課・移住担当課へ問い合わせましょう。

(9) 生活・就農に必要な資金を確保しよう！

農業は準備段階から多額の資金が必要です。それには、直接農業経営に要する運転資金のほか、研修、農地や住居の確保、農業機械の購入、生活資金等です。全国農業会議所の調べでは、約1,500万円～1,700万円との報告もあります。

～～新規就農者からのアドバイス～～

- ◎しっかりと自己資金を貯めておく必要がある。農業は体が資本、健康な体を保つこと。ビジネスという感覚が大切です。



(10) 各種施策・制度を活用しよう！

新規に就農するものに対しては、就農準備、就農時の支援、就農後の経営支援のため、各種の施策・制度があります。公的指導機関、市町村、民間団体、外郭団体等で相談や情報収集を行い、有効に活用すれば、初期投資の軽減にも繋がります。

- ★青年等就農資金
- ★農地中間管理機構(借り手と受け手のマッチング)
- ★新規畑人資金支援事業(就農準備資金・経営開始資金)
- ★雇用就農資金(農業生産法人等にて研修)
- ★沖縄県農業後継者育成確保事業
- ★新規就農者支援事業(沖縄県経営発展支援事業)
- ★農業制度資金等



沖縄県新規就農相談会開催要領(年2回開催)

1 目的

本県農業を担う新たな人材を確保するため、「沖縄県農業グッジョブ推進方針」を踏まえ新たに農業開始を希望する方や、農業法人等へ就職を希望する方を対象に、必要な情報の提供やアドバイス、農業法人等への就職マッチングを行うために開催します。

2 主 催：沖縄県新規就農相談センター((公財)沖縄県農業振興公社、(一社)沖縄県農業会議)

3 共 催：沖縄県、沖縄県農業経営・就農支援センター

4 日 時：年2回(7月・12月予定)

5 対象者(参加者)

県内で新たに就農を希望する者や農業法人等に就職を希望する者

6 参加料：無料(事前申込不要)

7 内 容

(1)新規就農相談会

①研修・就農相談対応者

沖縄県営農支援課、沖縄県農業振興公社、沖縄県農業会議、沖縄県立農業大学校、農業改良普及センター・農業改良普及課・JAおきなわ、沖縄県酪農農業協同組合、沖縄県花卉園芸農業協同組合、市町村・農業委員会等

②農業法人就業・研修相談対応者

県内で求人・研修受入予定の農業法人等

(2)新規就農セミナー

県内で新規就農した方による体験談の事例発表

令和6年度 沖縄県新規就農相談会の様子

就農相談コーナー



来場者の声：

- ・参考になりました。
- ・とても参考になる話がたくさん聞けました。

新規就農事例発表



来場者の声：

- ・発表者の方は、お二人とも若いのに、しっかりと目標を立て農業をされていることがわかり素晴らしいなと思いました。
- ・農地探しが難しい点や、資金面について詳しくわかりました。



(公財)沖縄県農業振興公社の農業後継者育成確保事業紹介

農業後継者育成確保事業は、次代の農業・農村を担う意欲と能力のある優れた農業後継者の育成確保を図ることを目的としている事業で、県、市町村、農業団体が出捐して造成した基金の運用益を財源としています。

当公社の農業後継者育成確保事業の中で研修生を受け入れる農家、研修生、青年農業者等が利用できる事業を紹介します。

【受入農家等を対象とした事業】

① 研修生受入事業

新規就農予定者を受け入れる指導農業士等(※1)に対し、研修に必要な経費の一部を助成する事業で、農業改良普及センター所長等の推薦ができるものとします。

(助成内容)

- 受け入れ1人につき月額5万円以内で、期間は1ヶ月以上12ヶ月以内。
- 受け入れ農家は、研修生2人までを対象とし、2人目は1人目の2分の1以内。
- 当事業は、農業後継者の育成を目的としている為、就農意欲のある研修生を受け入れた農家が対象です。

(※1) 指導農業士、青年農業士、女性農業士のほか、JAの営農指導員経験者や、研修生を受け入れる体制が整っている農家も認められます。

(規模や設備、これまでの研修受け入れ実績等を総合的に勘案)

【研修生を対象とした事業】

② 新規就農研修事業

指導農業士等(※1)において、研修を希望する50歳未満の新規就農希望者に対し、研修に必要な経費の一部を助成する事業です。研修終了後、就農が見込まれる方が対象となり、農業改良普及センター所長等の推薦ができるものとします。研修に入る前の農業経験等は、特に問いません。

(助成内容)

- 月額5万円以内で、期間は1ヶ月以上12ヶ月以内。1人1回限りの助成です。

当事業は、国、県の実施する他の研修事業で給付又は助成を同時期に受けることはできません。

» 研修生の審査基準

- 就農ビジョンと研修目的が明確であり、就農意欲が高い者であること。
- 研修の実行が確実に見込まれる者であること。
- 就農に必要な技術や知識の習得が期待される者であること。



【青年農業者等を対象とした事業】

③ プロジェクトほ場設置事業

農業経営の課題を自ら解決するプロジェクト活動を実施することに必要な経費の一部を助成する事業です。対象者は青年クラブ又は青年農業者等の組織に属し、農業改良普及センター所長等の推薦ができるものとします。

(助成内容)

- 10万円以内の助成とします。助成対象と認められる主な経費は、種苗代や肥料代、農薬代等消耗品費、燃料費、農地賃借料やほ場整備に伴うトラクター等使用料のプロジェクト実施にかかる経費。

※飲食の経費は、原則として認められません。

④ 農業経営・技術習得事業

県内又は県外において、生産から販売までの流通過程を通じ、安定した農業経営を目指し、視察研修を行う経費の一部を助成する事業です。対象者は農業青年クラブ等の組織に属し、農業改良普及センター所長等の推薦ができるものとします。

(助成内容)

- 県内5万円以内、県外10万円以内の助成とします。助成対象と認められる主な経費は、旅費、宿泊費、研修参加費。

※飲食の経費は、原則として認められません。

申請の方法

(公財)沖縄県農業振興公社農業後継者育成確保事業業務細則に定められている様式により、申請書、研修事業計画書、意見書等を「農業改良普及センター」又は「農業改良普及課」経由で、当公社へご提出下さい。

助成の方法

事業終了後に、(公財)沖縄県農業振興公社農業後継者育成確保事業業務細則に定められている様式により、事業完了報告書、事業実績書、意見書等を提出し、所定の金額を請求して下さい。

» 申請をする際は、

お近くの農業改良普及センター又は、農業改良普及課へご相談下さい。

お問い合わせ先	北部農林水産振興センター (農業改良普及課)	☎ 0980-52-2752	〒 905-0015	名護市大南1-13-11
	中部農業改良普及センター	☎ 098-894-6521	〒 904-2155	沖縄市美原1-6-34 2階
	南部農業改良普及センター	☎ 098-889-3515	〒 901-1115	南風原町字山川517
	宮古農林水産振興センター (農業改良普及課)	☎ 0980-72-3149	〒 906-0012	宮古島市平良西里1125 1階
	八重山農林水産振興センター (農業改良普及課)	☎ 0980-82-3497	〒 907-0002	石垣市真栄里438-1
	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	☎ 098-882-6801	〒 901-1112	南風原町字本部453-3 3階

就農支援に関する各関係機関

技術
経営

農業の技術指導や就農するにあたっての計画作成について、指導助言

沖縄県北部農林水産振興センター	農業改良普及課	☎0980-52-2752
中部農業改良普及センター		☎098-894-6521
南部農業改良普及センター		☎098-889-3515
宮古農林水産振興センター	農業改良普及課	☎0980-72-3149
八重山農林水産振興センター	農業改良普及課	☎0980-82-3497

農業を本格的に学びたい方

沖縄県立農業大学校 098-923-2077
(本科(2年間)、短期養成科(1年間))
(就農サポート講座(野菜・花き・果樹・肉用牛))

農地

各市町村内の農用地の取得、権利移転等の情報提供、手続きなど

各市町村農業委員会
(一般社団法人)沖縄県農業会議

県内での就農に適した農用地の紹介・斡旋の他、関連情報

(公益財団法人)沖縄県農業振興公社(農地中間管理機構) ☎098-882-6801
HPアドレス：<http://www.onk.or.jp>

資金

青年等就農資金について

沖縄県農林水産部営農支援課 ☎098-866-2280
(又は中部、南部農業改良普及センター、北部・宮古・八重山合同庁舎農業改良普及課へ)
沖縄県振興開発金融公庫 ☎0120-956-318

新規畠人資金支援事業について

- ・沖縄県農林水産部営農支援課（就農準備資金） 098-866-2280
(又は中部・南部農業改良普及センター、北部・宮古・八重山合同庁舎農業改良普及課へ)
 - ・各市町村窓口へ（経営開始資金）

◎ 新規就農全般についての問い合わせ ◎

(公益財団法人) 沖縄県農業振興公社 098-882-6801
メール: shinkisyuno@onk.or.jp

(一般社団法人) 沖縄県農業会議 098-889-6027
メール: ikkan2@opca.or.jp
沖縄農業扶助会議事務局

沖縄県農林水産部宮農援課 098-866-2280
農林水産省 新規就農関連ホームページ紹介
農業を始めたいあなたを応援します！ http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/

